

電子航法研究所

第20回 研究発表会

WEB セミナー



令和2年9月30日(水) 13:30 ~ 16:20

令和2年10月1日(木) 13:30 ~ 16:25

事前登録はホームページよりご確認ください【<https://www.enri.go.jp/>】

※ 登録受付期間：9/28(月) 15時まで

オンラインポスターセッション

航法システム領域	アジア・オセアニア地域における準天頂衛星 L5S 信号の性能評価	Shau-Shiun Jan (台湾・国立成功大学)
	SBASによるGNSS信号認証に関する研究	Dinesh Manandhar (東京大学)
監視通信領域	ILS電波干渉シミュレーターの開発	本田 純一、松永 圭左、毛塚 敦、田嶋 裕久
	実験用航空機を用いたAeroMACSの覆域拡大に関する実証検討	森岡 和行、呂 曉東、長縄 潤一、江上 周作、宮崎 則彦、米本 成人、住谷 泰人、河村 暁子
航空交通管理領域	UPR 環境下における空域編成への数理最適化の適用に関する研究	猿渡 康文(筑波大学)、鶴飼 孝盛(防衛大学校)、鳥海 重善(中央大学)、蔭山 康太

電子航法研究所 第20回 研究発表会 オンライン開催につきまして

今般の新型コロナウイルス感染拡大を受けて、例年6月に開催しております「電子航法研究所 研究発表会」については、感染防止を目的として、研究所として初の試みとなるオンライン開催にて実施致します。
Cisco WebEx を使用し、インストールすることなく、Web ブラウザから閲覧可能です。参加費は無料ですが、事前のご登録をお願い致します。

事前登録はホームページよりご確認ください

【<https://www.enri.go.jp/>】

※ 登録受付期間：9/28(月) 15時まで

なお、大変恐縮ですが、運営の都合上、参加人数を200名とさせていただきますので、お早めの登録をお願い致します。

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所

電子航法研究所

〒182-0012 東京都調布市深大寺東町7-42-23

TEL:0422-41-3168 (研究計画課)

FAX:0422-41-3186

E-mail:info-k@enri.go.jp

HP:<https://www.enri.go.jp/>



国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所

電子航法研究所

Electronic Navigation Research Institute



第20回 研究発表会 WEBセミナープログラム

9月30日(水) 13:30 ~ 16:20

国際標準化活動への取り組み／航法システム領域に関する研究

13:30~13:35	オリエンテーション	研究計画課長 宮崎 裕己
13:35~13:45	開会挨拶	海上・港湾・航空技術研究所 理事長 栗山 善昭
13:45~14:05	電子航法分野の国際標準化活動への取り組み ※福島 荘之介	航空交通管制システムの国際標準化活動の現状と課題、所内に発足した国際標準化センターの活動を紹介します。
14:05~14:10	質疑応答	
14:10~14:30	海上技術安全研究所の国際標準化活動への取り組み ※宮崎 恵子 (海上技術安全研究所)	海事分野におけるISOの状況を概観し、海上技術安全研究所の取り組み概要を説明した上で、個別の開発事例を示し、実際の活動を紹介します。
14:30~14:35	質疑応答	
14:35~14:50	休憩	
14:50~15:00	航法システム領域に関する説明について	領域長 福島 荘之介
15:00~15:20	次世代SBASプロトタイプ機の航空機を用いた性能評価 ※北村 光教、渡邊 浩志、坂井 丈泰	次世代SBASの性能に関して、航空機の実環境で評価した結果を紹介する。
15:20~15:25	質疑応答	
15:25~15:45	GNSS代替のためのDME地上局のインテグリティ保証 ※毛塚 敦、斉藤 真二	欧州では、DME/DME測位をGNSSのバックアップとする標準化が進められている。本発表では、国内導入における技術課題について説明する。
15:45~15:50	質疑応答	
15:50~16:10	GBAS海外展開のための電離圏環境評価 ※齋藤 享、吉原 貴之、Le Huy Minh (ベトナム科学技術アカデミー地球物理研究所)、Pornchai Supnithi (モンクット王工科大学ラカバン)	GBASを磁気低緯度地域に展開するための電離圏評価を、海外観測データを用いて行った結果について紹介する。
16:10~16:15	質疑応答	
16:15~16:20	1日目終了挨拶	研究計画課長 宮崎 裕己

(※は講演者)

10月1日(木) 13:30 ~ 16:25

監視通信領域に関する研究／航空交通管理領域に関する研究

13:30~13:35	オリエンテーション	研究計画課長 宮崎 裕己
13:35~13:45	監視通信領域に関する説明について	領域長 住谷 泰人
13:45~14:05	ADS-B位置検証技術の実用化に向けた考察 ※長縄 潤一、宮崎 裕己	なりすましや不正航跡への対策である信号到達時間差(TDOA)を用いたADS-B位置検証法について、これまでの評価結果を基に実用化に向けた考察を述べる。
14:05~14:10	質疑応答	
14:10~14:30	滑走路異物監視システムの高度化に向けた研究開発 ※ニッ森 俊一、森岡 和行、河村 暁子、米本 成人、柴垣 信彦 (株式会社日立国際電気)、佐藤 洋介 (株式会社日立国際電気)、加島 謙一 (株式会社日立国際電気)	滑走路異物監視システムの高度化に向けた研究開発について、評価システムを用いた試験結果および異物回収端末等の開発進捗について報告する。
14:30~14:35	質疑応答	
14:35~14:55	SWIMオントロジーの構築と応用に関する研究 江上 周作、※呂 曉東、古賀 禎、住谷 泰人、森岡 和行、北折 潤	意味的な相互運用性を持つ高度な情報共有基盤の実現を目指すため、オントロジー技術を応用してSWIM環境で交換される異種情報を統合するモデルを提案する。
14:55~15:00	質疑応答	
15:00~15:15	休憩	
15:15~15:25	航空交通管理領域に関する説明について	領域長 福島 幸子
15:25~15:45	軌道予測の高精度化に向けた悪天回避経路生成に関する検討 ※中村 陽一、瀬之口 敦、平林 博子	将来の軌道予測の高精度化に資する悪天回避の定量的な解析に向け、悪天回避経路の生成に関する検討例について報告する。
15:45~15:50	質疑応答	
15:50~16:10	大規模空港における継続降下運航の運用拡大に関する研究 ※平林 博子、ピクラマシンハ ナヴィンダ、虎谷 大地、瀬之口 敦、岡 恵、江口 昌広、福島 幸子	継続降下運航 (CDO) は燃料や騒音を低減できる降下方式である。我が国におけるCDO拡大を目指し、平成28年度から令和元年度まで実施した研究成果について報告する。
16:10~16:15	質疑応答	
16:15~16:25	閉会挨拶	電子航法研究所 所長 福田 豊

* オンラインポスターセッションの詳細は裏面をご覧ください